

1-50 牛ふん・食品残渣等を原料とした堆肥を製造（壮瞥町堆肥センター）

- 壮瞥町堆肥センターは、町内外から収集した肉牛のふんを原料とした「そうべつの恵」と、町内から排出された食品残渣・集落排水汚泥を原料とした「みんなのゆうき」を製造。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称

- ・肉牛のふん
- ・食品残渣
- ・集落排水汚泥

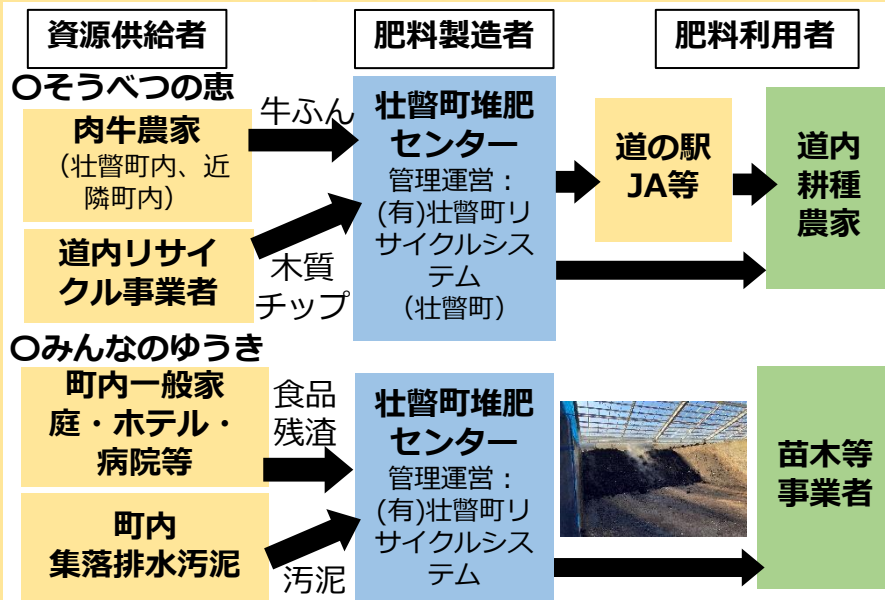
- ・【堆肥】そうべつの恵
- ・【汚泥肥料】みんなのゆうき

■作物 ■主成分の含有量（％）・特徴等

- ・麦
- ・稲
- ・園芸作物
- ・苗木 等

	N	P	K	C/N比
そうべつの恵	0.91	0.73	1.63	18.7
みんなのゆうき	2.3	1.7	2.1	9

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

- ・ 壮瞥町は、平成13年度より町内農地の土づくりや農業生産による環境負荷低減を目指し、未利用資源（牛ふん、食品残渣、汚泥等）の堆肥化による有効活用の検討を開始し、平成16年度に「壮瞥町堆肥センター」を建設。

取組の内容

○「そうべつの恵」

- ・ 町内外から出る肉牛のふんを木質チップと混合し発酵することで、完熟堆肥「そうべつの恵」を製造。年間生産量は2,000m³を超える。
- ・ 堆肥センターでのバラ直販は、3,000円/m³（壮瞥町民）又は6,000円/m³（壮瞥町民以外）。町内外のJAや道の駅での袋販売は、町内の販売店で500円/40ℓ、町外の実売店では600円/40ℓ。
- ・ 遠くは南空知・桧山地方から購入に来る農業者もいるほど需要が高い。

○「みんなのゆうき」

- ・ 町内の一般家庭・ホテル・病院等から排出される食品残渣と集落排水汚泥を混合し、「みんなのゆうき」を製造。苗木生産事業者に販売しており、苗木等に活用されている。販売価格は、2,500円/m³。

成果（見込み）

- ・ そうべつの恵については、人気があり、春先に在庫切れになることがある。
- ・ 完熟堆肥なので、臭いもなく使いやすいと好評。

■今後の課題・取組

- ・ 施設・機械の老朽化が進んでおり、更新が必要。
- ・ 特にそうべつの恵の需要が高いが、人手不足等によって生産量が頭打ちとなっている。



←道の駅で販売している
そうべつの恵

完熟した堆肥→

